

シフトポジションインジケータ

SHIFT POSITION INDICATOR (SPI-K76)

【GPZ900R Ninja A12～(ZX900A)】

車種専用キット

取扱説明書

ノーマルギア比でのシフトポジションデータ登録済みです。
スプロケット数がノーマル以外の場合や、ホイール径を変更している場合はシフトポジションデータを登録してください。

セット内容

- シフトポジションインジケータ本体(データ登録済み) ●専用ハーネス
- PG-110(3Pカプラー仕様) ●PG-110用アルミステー(PGST-06)
- マグネット(厚)、ドーナツ型テープx各8枚 ●チェック用LED
- タイラップ(142mm)x10本

注意事項

- 本説明書はGPZ900R A12(輸出仕様車)に対応する内容で記載しております。車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照いただき作業を行ってください。
- シフトポジションインジケータ本体の裏面にはスイッチがあります。付属の両面テープを貼り付けて、水が浸入しないように注意してください。
- 取り付けは説明書に沿って正しく行ってください。説明書記載以外の方法での取り付けは火災・事故などの原因になる事があります。ご注意ください。
- 本製品の使用により生じた事故・故障などいかなる損害においても当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 製品に不具合が発生し、修理や返品の際に生じた工賃・送料などいかなる費用について、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

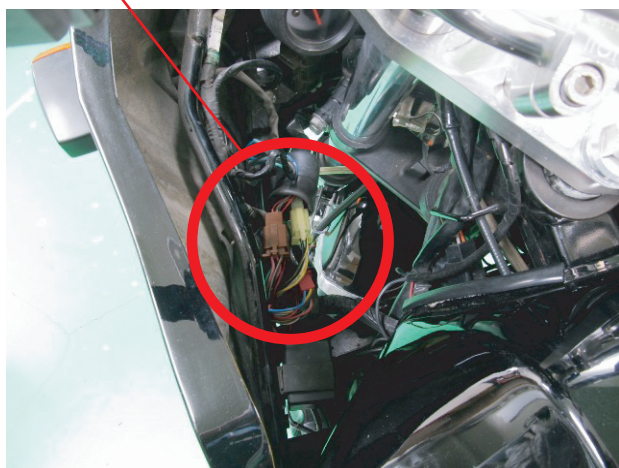
取り付け方法

※本説明書では製品の取り付けのみ解説いたします。
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業してください。

【取り付け作業の準備】

※作業の際は必ずキーOFFで行ってください。

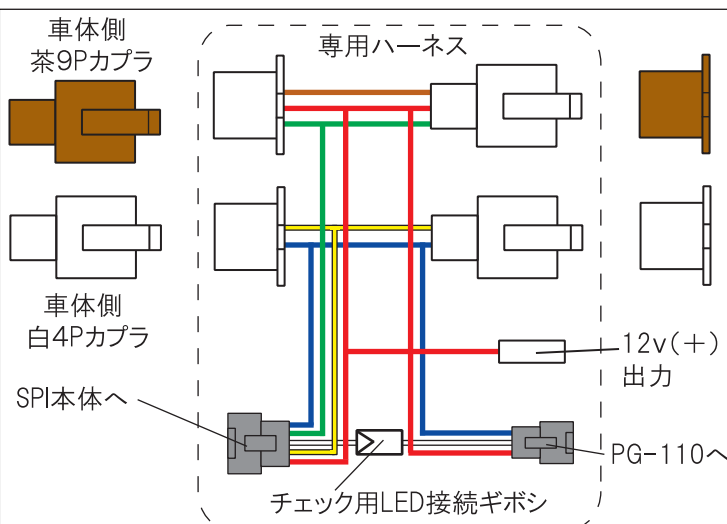
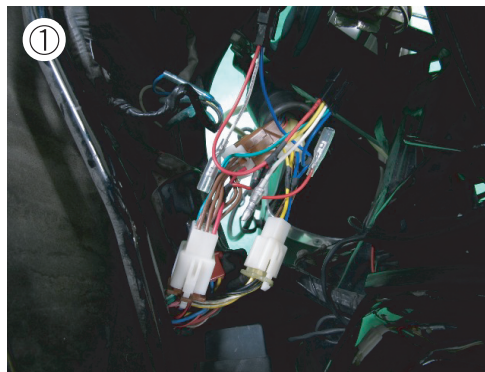
- ①スクリーン、左インナーカバー、メーターASSYを外します。
- ②茶9Pカプラーと白4Pカプラーを分割します。



	車体側	SPI側
電源(+)	茶/白(茶9Pカプラー)	赤
アース(-)	黒/黄(白4Pカプラー)	青
ニュートラル	若葉または空色(茶9Pカプラー)	緑
エンジン回転	黒(白4Pカプラー)	黄
スピード信号	PG-110センサーより取り出し	白

【専用ハーネスの取り付け】

- ①専用ハーネスを車体側ハーネスとの間に接続します。
・車体側の茶9P、白4Pカプラーに専用ハーネスのカプラーをそれぞれ割り込ませます。



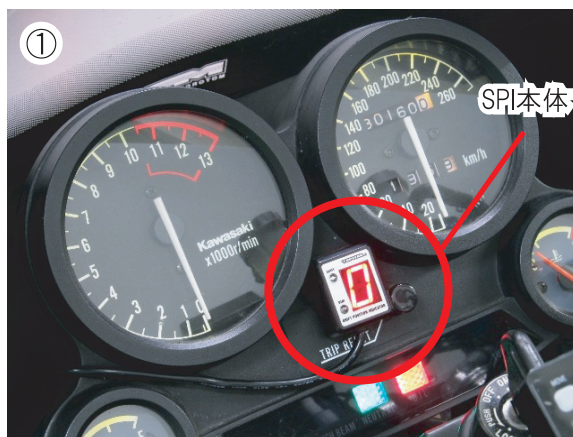
※12V(+)出力サービス端子は、弊社[盗難警報機CS-550]の接続を始め、アクセサリ電源として多目的に活用頂けます。

【SPI本体の取り付け】

※初めにシフトアップインジケータの設定を行います。
設定・登録方法は別紙のSPI-110取扱説明書をご覧ください。
また、スプロケットがノーマル丁数以外の場合や、ホイール径を変更している場合は、取説裏面記載のPG-110を取り付けてからシフトポジションデータの登録を行います。

【車種専用キットはシフトポジションデータが登録されております。】

- ①下の画像を参考にSPI本体を両面テープを使って貼り付けます。



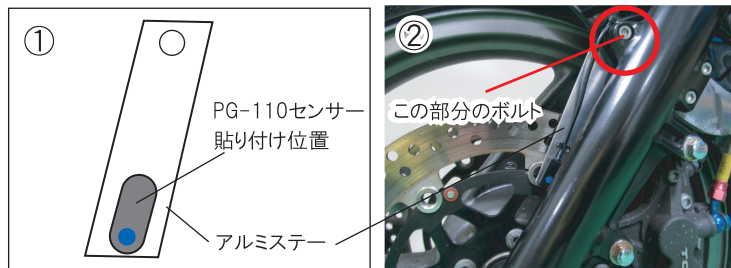
- ②SPI本体のコードを専用ハーネスまで通し、専用ハーネスの5Pカプラーと接続します。

※ ハンドルを左右に切った際、SPI本体のコードに無理な力が加わらないよう取り回し、SPI本体のコードは車体側ハーネスなどにタイラップで固定してください。

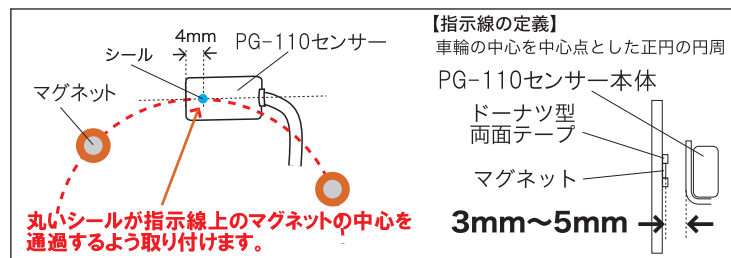
裏面へ続く

【PG-110 スピード信号センサーの取り付け】

- ①PG-110センサーをアルミステーへ貼り付けます。
- ②PG-110センサー用アルミステーを画像の赤丸で示したフロントフォーク左側のフェンダー取り付けボルトで共締めします。
PG-110センサーとマグネットとの隙間は3～5mmの範囲で調整します。



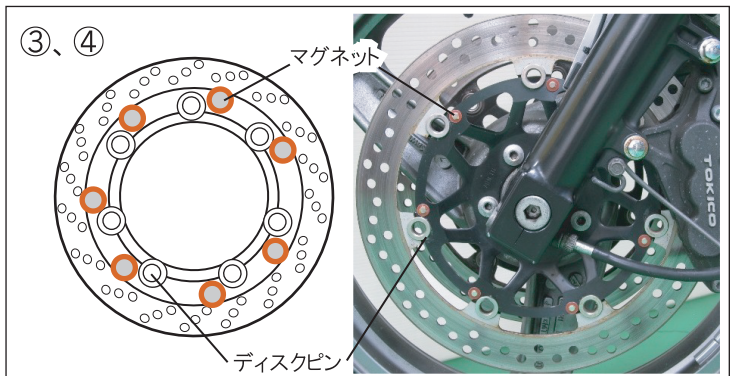
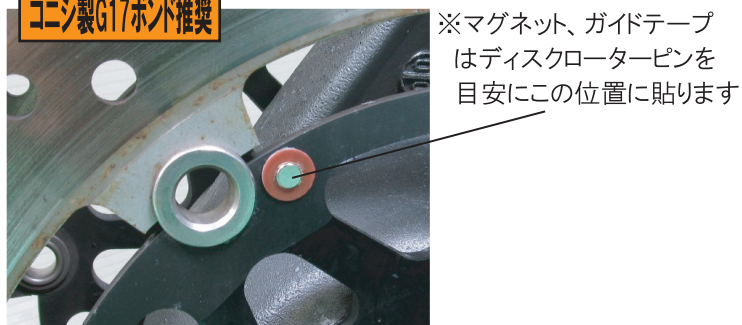
下の枠内の注意点を参考に
フロントディスクローター（左側）にマグネットを**7箇所**貼付けます。



- ③ドーナツ型のガイドテープをディスクローターのフローティングピンを目安に等間隔に貼ります。
- ④マグネットを市販の**金属用ボンド**使って貼り付けます。
※マグネットは必ずホイール中心部に対し等間隔に配置します。
7つあるローターディスクピンを目安にしてください。

ノーマルディスクローター以外の場合、マグネットは3個以上等間隔で貼り付けてください。

コニ製G17ボンド推奨

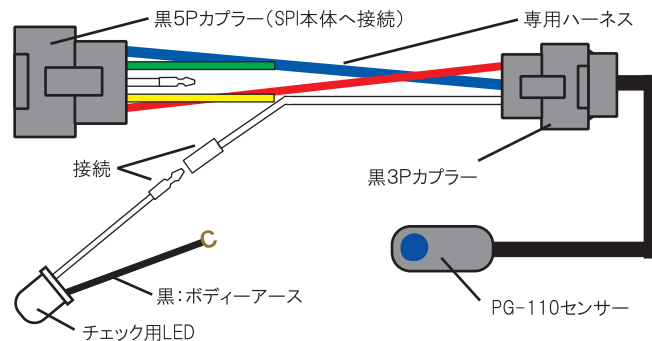


- ⑤PG-110のコードはメーターケーブルに沿ってタイラップで縛り、巻き込みやストローク時に引っ張られないように取り回し、専用ハーネスまで通します。
※コードに無理なストレスが加わらないように取り回してください。
- ⑥PG-110センサー3Pカプラーを専用ハーネスの3Pカプラーへ接続してください。余ったコードは束ねてタイラップで結束します。

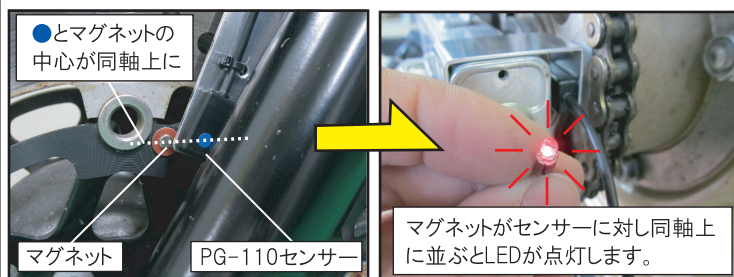
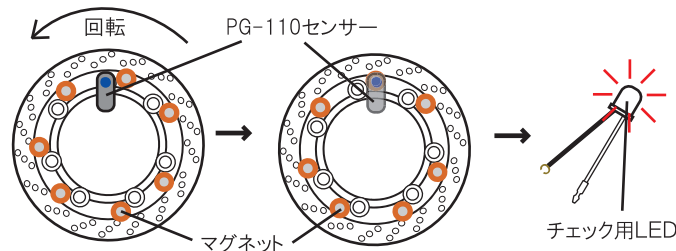
【PG-110センサーとマグネットの位置をチェック】

- ①専用ハーネスの黒5Pカプラーと、黒3Pを繋いでいる白線のギボシ端子を外し、チェック用LEDの白線をメインハーネスの黒3Pカプラーの白線へ接続します。
- ②チェック用LEDのもう一方の線（青または黒）をボディーアースに接続します。
- ③ギアをニュートラルに入れ、キーONにし、フロントホイールを**ゆっくり回転**させ、マグネットがPG-110センサーを通過する時にLEDが点灯し、通り過ぎたら消える事を全てのマグネットにて確認してください。全て点灯していれば正常です。

PG-110センサーとマグネットの位置調整確認用LEDの接続図



チェック用LEDの確認方法



ギアをニュートラルにし、キーON、フロントホイールをゆっくりと回転させ、PG-110センサーの青丸シール部分とマグネットを同軸上に合わせるとチェック用のLEDが点灯します。

※12vの電源が取れていないとチェック用LEDは点灯しません。

※全てのマグネットにおいてLEDが点灯しない場合は電源が入っていないか、センサーとマグネットの間隔が離れすぎているか、位置が合っていないので、マグネットを貼り直し再調整してください。

※チェック終了後はチェック用のLEDを外し、必ず専用ハーネス白線のギボシ同士を接続してください。

※チェック用LEDは12vの電圧で点灯致しますので、チェック終了後多目的にご利用頂けます。

■フロントカウル内に専用ハーネスを収納し、スクリーン左インナーカバー、メーターASSYを元に戻して完了です。

各ギアポジションの登録、シフトアップインジケータ登録、及びエラー表示の詳細は別売りのSPI-110C1 シフトポジションインジケータ（5Pカプラー仕様）の取扱説明書をご覧ください